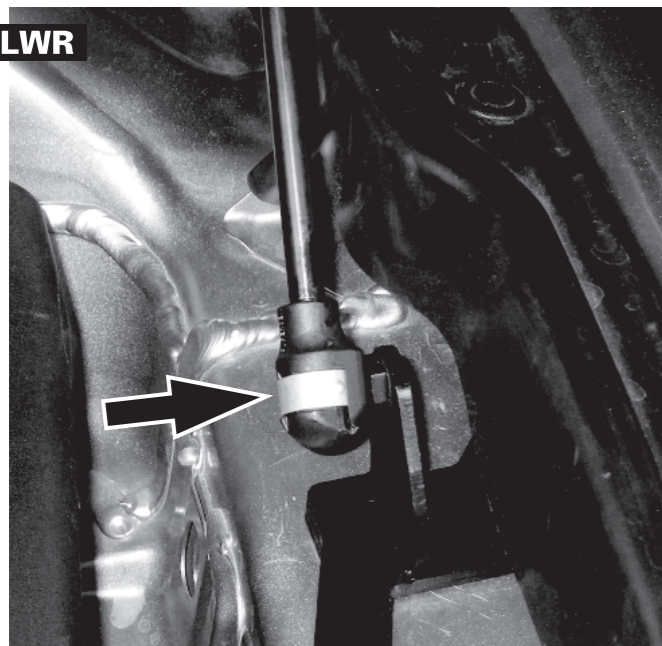


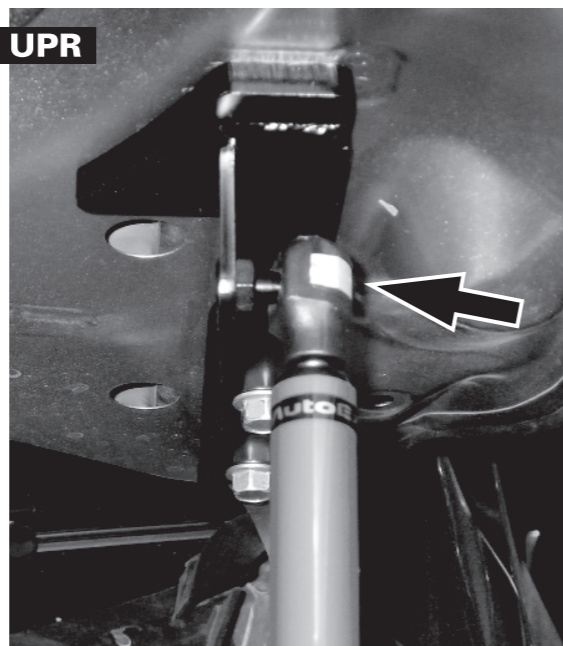
6

- 3] で外したフェンダーエッジラバーを左右とも復元します。
ボンネットロックステーを解除し、各ブラケットのボールピボットに①ガスダンパー両端のヒボットケースを押込んで取付けします。

LWR

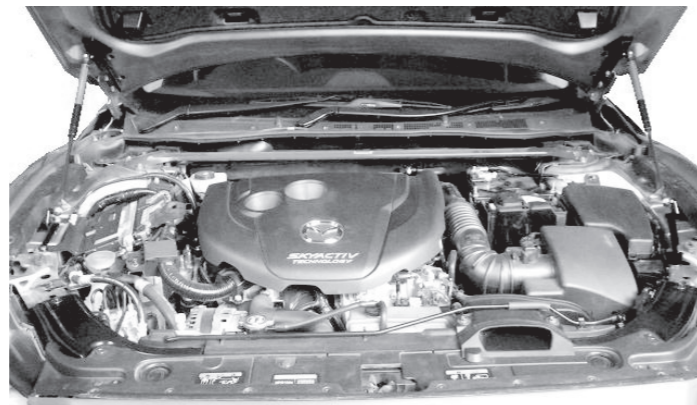


UPR



7

1. 全てのネジの締め忘れが無いかを確認します。
2. ボンネットを上下させ、スムーズに動くことを確認して下さい。
3. ボンネットを閉める際には、開閉角の60%下げた状態で急激に押し上げる力が低下する位置がありますので、この位置からボンネットを落下させて閉めて下さい。



ガスダンパーの取外し方法

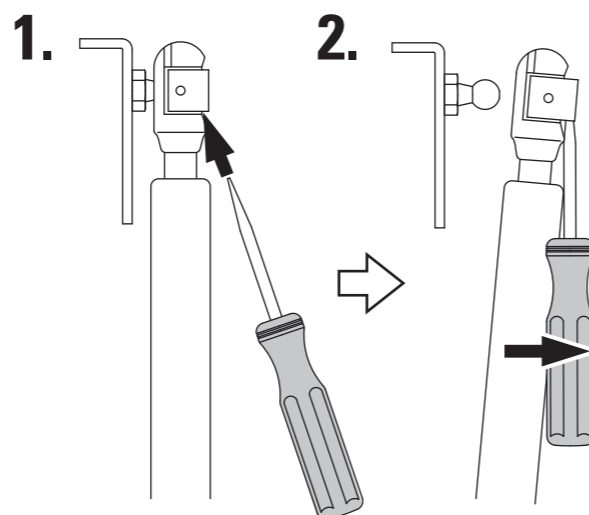
ガスダンパーの上下を間違えたり、補修品に交換する等の脱着作業が必要な場合には、以下の要領に従いボンネットダンパーを取外して下さい。

ガスダンパーを取り外す場合、

1. マイナスドライバーを先端の金具とプラスチックの部品の隙間に差込み
2. ガスダンパーとマイナスドライバーを矢印の方向に引っ張り取り外して下さい。

※ガスダンパーにガス圧がかからないようにボンネットを軽く持ち上げる事と、ボンネットダンパーのブラケットに力をかけず、マイナスドライバーだけを矢印方向に引っ張るようにするのがコツです。

※ ジョイント部の破損に注意して下さい。



Bonnet Damper ボンネットダンパー No.MGJ2960 取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクス
〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度はオートエクス「ボンネットダンパー」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本書は当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、取り付けの際には本書に従って作業を進めていただきます。また、作業終了時には本書を必ずお客様にお渡し下さい。

適合車種

アテンザ (G系) 全車



ご注意 (作業者および使用者の方へ)

- 本製品を適合車種以外に使用しないで下さい。破損したり脱落し重大な事故に繋がる恐れがあります。
- 本製品を加工したり、改造しないで下さい。破損したり脱落し重大な事故に繋がる恐れがあります。
- 取付けは、作業に適した平らな場所で行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 取付け時は、車止めをし作業を行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 取付け時は、車が冷えた状態でエンジンを止め、作業を行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 取付け時は、キーシリンダーから鍵を抜き、バッテリーの端子を外してから作業を行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 取付け作業は必ず2人以上で行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 本製品をご使用中は、定期的に製品の状態を確認し、異常が認められた場合は使用を中止して下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- ボンネットの開閉時は作動範囲内の安全を確認して下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- ガスダンパーは経年変化によって反発力が低下します。反発力が低下した場合は補修用ガスダンパー(別売)と交換して下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 火中に投じると高温によりオイルやガスが急激に吹き出し、けがをすることがあります。
- 分解したり切断したりしないでください。押しつぶさないでください。高圧の窒素ガスが封入されているため、シリンダー内のオイルやガスが急激に吹き出したり、ロッドが急激に飛び出し、重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
- 汚れた場合はかわいた布でやさしく拭いて下さい。シンナーやベンジン等は使わないで下さい。
- ガスダンパーは、完全密封構造ではないために自然放置状態でもシールからの透過現象による微少なリークがあり、使用年数が経過するにつれ、反力が低下します。
- ガスダンパーに強い衝撃を与えないでください。ロッドの曲がりやシリンダーチューブの凹みなどを生じ作動不良の原因となります。
- ロッドに傷、打痕や塗料などの凹凸をつけないでください。また、ロッドに錆を生じさせないよう注意してください。シールが損傷し、反力低下の原因となります。

ガスダンパーは必ず太い側が上になるように取り付けて下さい。
向きを逆に取付けると、ボンネットが破損します。

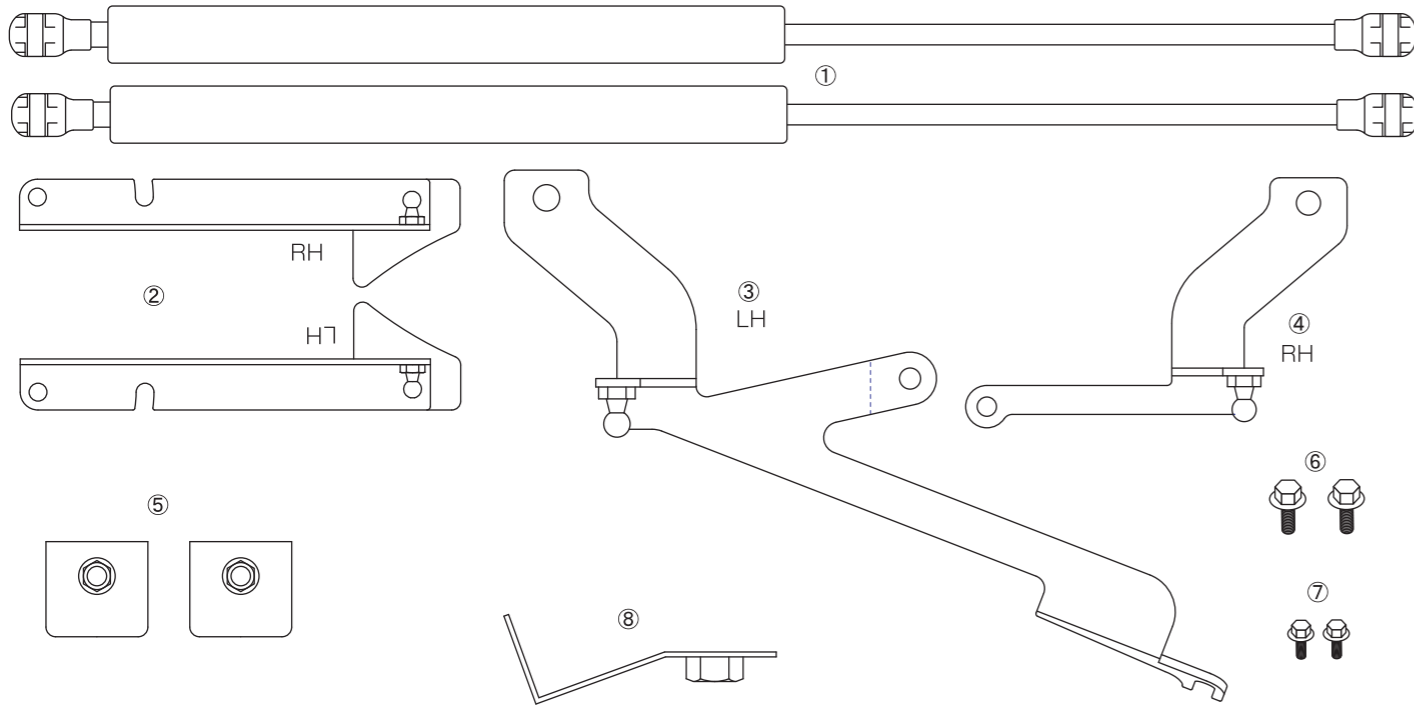


ご注意 (使用者の方へ)

ボンネットの開閉は丁寧に行って下さい。本製品を装着することによってボンネットにかかる力が変化し、ボンネットが変形することがあります。1度でもヒンジ部に無理な力がかかると取付け面が変形しボンネットが浮いた状態になることがあります。このような状態になった場合も当社は一切保証しかねます。上記の内容を納得された上で、ユーザー様のご責任の範囲で正しくお使い下さい。また、本製品を使用した事によって発生したいかなる車両の不具合も当社は一切保証しかねます。

構成部品

No.	部品名称	仕様	数	No.	部品名称	仕様	数
①	ガスダンパー	高圧窒素ガス封入式	2	⑤	バックプレート	スチール製黒亜鉛メッキ	1
②	マウントブラケットUPR LH/RH	スチール製黒亜鉛メッキ	1/1	⑥	フランジボルト	M8×25	2
③	マウントブラケットLWR LH	スチール製黒亜鉛メッキ	1	⑦	アプセットボルト	M6	2
④	マウントブラケットLWR RH	スチール製黒亜鉛メッキ	1	⑧	プレート付M6ナット	スチール製黒亜鉛メッキ	1



装着手順

1

*以下装着手順は左側を示しています。右側も同様に作業して下さい。

1. ボンネットを開けて、ボンネットロックステーをかけます。
2. ボンネットとボンネットヒンジを固定しているボルト2本の内、下側のボルトを完全に取外します。
3. ②マウントブラケットUPRの裏側に貼付してある両面テープの剥離紙をあらかじめ剥がしておきます。
4. ②マウントブラケットUPRを2. で取外したボルトで軽く締込み、仮組みします。
5. ボンネット裏側の破線部分の油分、ヨゴレを中性洗剤の水溶液などを使用して洗浄脱脂します。



2

ボンネットとボンネットヒンジを固定している上側のボルトを緩め、②マウントブラケットUPRを挟込み、本締めします。

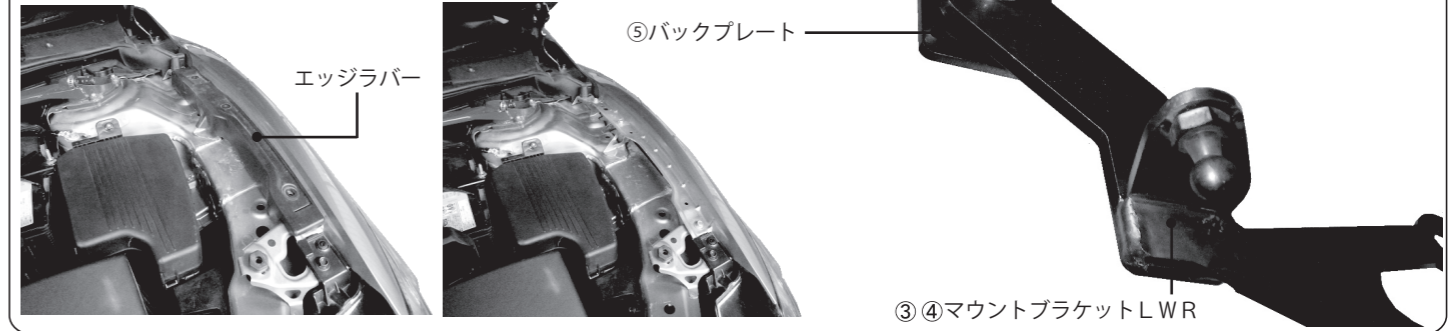
締付トルク 20~26 N・m



3

フェンダーパネルに取付けされているフェンダーエッジラバーを左右とも取外します。

③④マウントブラケットLWRと⑤バックプレートを⑥フランジボルトを使用して仮組みします。



4

マウントブラケットLWRを（LH）取付けます。

完成写真



1. 完成写真を参照し、[3] で仮組みした③マウントブラケットLWR（LH）を仮止します。マウントブラケットと⑤バックプレートとの間に車両フレームのリップを挟込み、ブラケットのもう一方の取付け箇所をリレーアンドフューズ・ブロックと車両フレームの間に差込み、純正ボルトを使用して共締めします。この時、図1を参照し、奥までしっかりと差し込んでください。
2. 図2を参照し、⑧プレート付きM6ナットを車両フレームの裏側に差込み、マウントブラケットLWR（LH）を⑦アプセットボルトを使用し仮止めしてください。
3. 各ボルトを規定トルクで本締めします。リレーアンドフューズ・ブロックと車両フレームに差し込んだ箇所がしっかりと奥まで差し込まれていることを再確認し、その後マウントブラケット全体を車体中央方向に引き、マウントブラケットと⑤バックプレートとの間に車両フレームのリップが奥まで入った状態で⑥フランジボルトを本締めします。次にリレーアンドフューズ・ブロックと車両フレームに差し込んだ箇所の本締めを行います。最後に図3の箇所の⑦アプセットボルトを本締めしてください。

締付トルク ⑥M8フランジボルト 12 N・m 純正ボルト 5 N・m ⑦M6アプセットボルト 5 N・m

5

マウントブラケットLWR（右側）を取り付けます。

1. 図を参照し、[3] で仮組みした④マウントブラケットLWR（RH）と⑤バックプレートとの間に車両フレームのリップを挟込みます。手前に引張り、ブラケットの奥までしっかりとリップを挟込んでください。
2. ④マウントブラケットのもう一方の取り付け箇所を矢印の箇所に⑦アプセットボルトを使用し取付けます。
3. 各ボルトを規定トルクで本締めします。

締付トルク ⑥M8フランジボルト 12 N・m ⑦M6アプセットボルト 5 N・m

